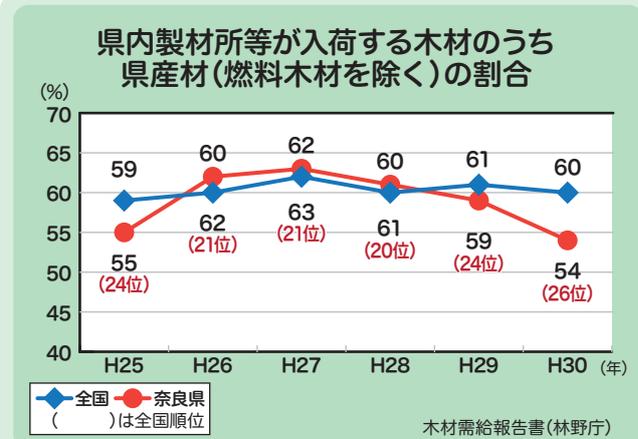
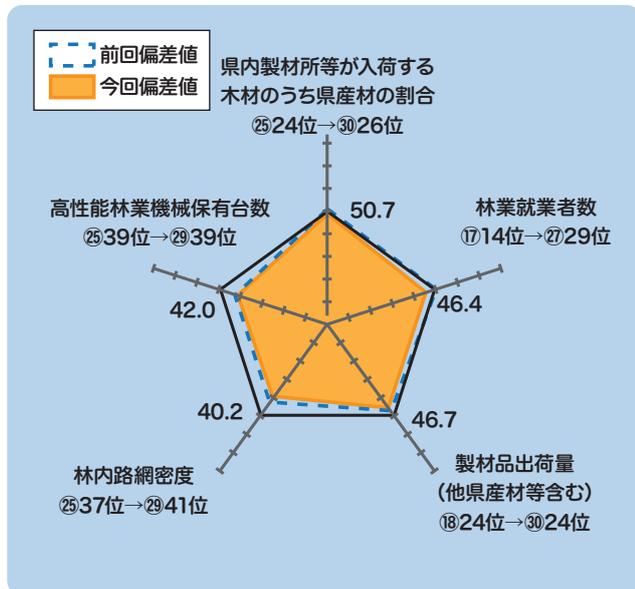
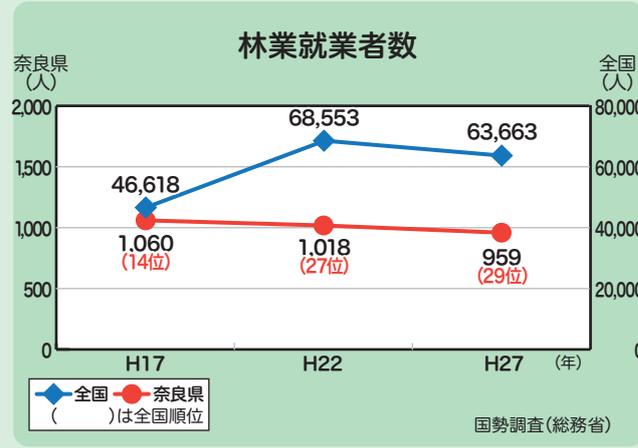
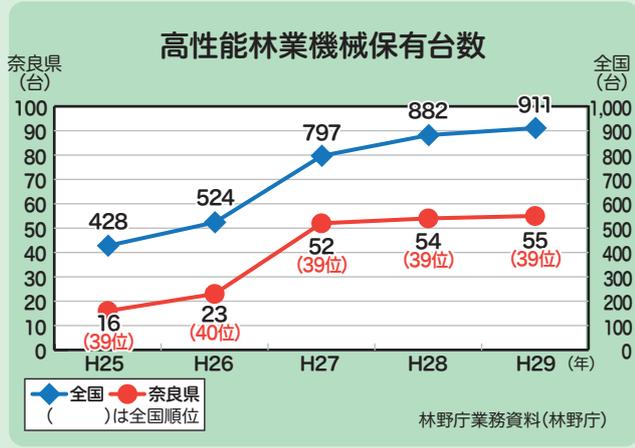




24. 森林環境管理・林業振興

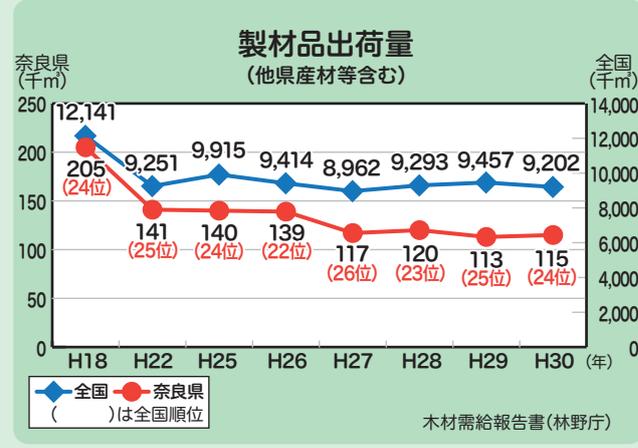
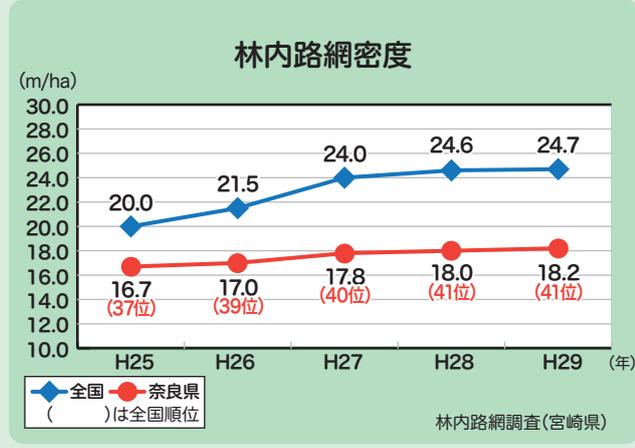


木材価格の低迷等により、県産材素材生産量が減少したため、県産材自給率は低下傾向にあります。



奈良県の高性能林業機械保有台数は、全国と比べて低位で推移していますが、徐々に増加傾向にあります。

林業就業者数は、奈良県では徐々に減少傾向にあります。



路網整備は着実に進んでいるものの、林内路網密度は全国と比べて低位にあり、差が徐々に拡大しています。

製材品出荷量(他県産材等含む)は、建築用材の出荷量の落ち込みにより、減少傾向にあります。



(131) 新たな森林環境管理制度の構築 (132) 森林防災体制の充実 (133) 奈良県フォレスター制度の確立、フォレスターアカデミーの設置

これまでは

- 県内の森林において、想定を上回る規模の山地災害が発生しており、災害を防ぐには、適切な森林管理・整備と、それを行う人材の確保が必要です。
- 県では、スイスの森林環境管理制度を参考に新たな森林環境管理制度の検討を重ねてきました。

スイスの森林を参考とした健康な森林の区分の設定



施業放置林の間伐後の状況(明日香村)



恒続林



適正人工林



天然林・自然林

もっと良くするために

- 森林の4機能である「森林資源生産・防災・生物多様性保全・レクリエーション」を一元的に管理し、防災機能を重視した「新たな森林環境管理制度」を導入するため、「奈良県森林環境の維持向上により森林と人との恒久的な共生を図る条例」を制定します。
- 制度を担う奈良県フォレスターと森林作業員を養成する奈良県フォレスターアカデミーを設置します。

目指す姿

令和6年度までに奈良県フォレスターアカデミー等で学んだ奈良県フォレスターを10名市町村に配置します。

4つの機能を高度に発揮させる森林づくりを進めるために、スイスを参考とした新たな森林環境管理制度を運用するんだ。



スイスで森林環境管理体制を学んだ人の数(累計)



新たな森林管理体制準備室調べ

制度の導入に必要な条例や人材の養成施設の設置が進められているんですよ。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新たな森林環境管理制度の中核を担う人材の養成	奈良県フォレスターアカデミーの検討、設置、運営		
新たな森林区分の設置	恒続林、適正人工林、自然林への誘導に関する支援		
森林の整備・保全推進	施業放置林の整備(強度間伐、恒続林・自然林誘導)、新たな森林環境管理体制に基づく施策		



(134) 奈良の木ブランド戦略

これまで

吉野材に代表される品質の優れた「奈良の木」のブランド力を活かし、販路開拓・利用拡大を推進してきました。

- 首都圏・海外への販路開拓
- 建築物への利用拡大
- 建築物以外への利用の推進
- 「奈良の木」の認知度向上

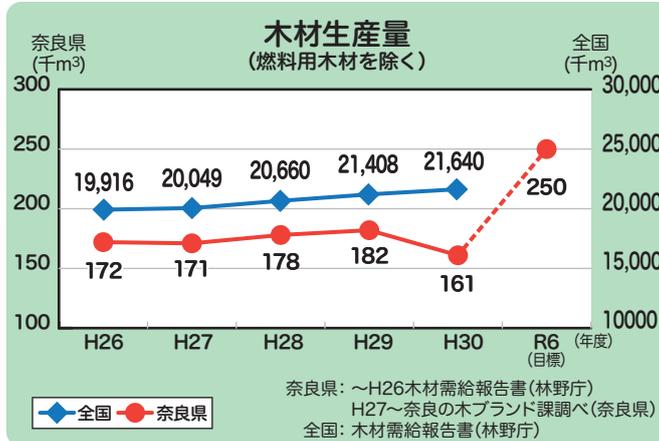
もっと良くするために

- 「奈良の木」のブランド力を広げ、販路拡大する取組を続けます。
- 川上・川中・川下の事業者連携により、マーケットインの考え方に基づく安定的・効率的で競争力を持つ供給・加工・流通体制(奈良の木サプライチェーン)を構築します。

目指す姿

令和6年度までに木材生産量を25万m³にします。

奈良の木は強さと美しさを兼ね備えた、日本屈指の良質な木材として有名なんだ。



奈良の木をたくさん使ってもらうために首都圏や海外への販路拡大や公共建築物等への利用促進の取組を進めていきます。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
県内外の販路拡大	首都圏・海外等への販路拡大		
県産材の利用促進	公共建築物等や付加価値の高い木工品等への県産材の利用促進		
奈良の木の魅力の情報発信	県産材の利用促進に関する普及啓発・人材育成		
供給・加工・流通体制の構築	サプライチェーンの構築に向けた川上・川中・川下(注)の連携体制の検討		

(注)川上...素材生産業者、川中...供給・加工・流通業者、川下...建築設計者 等



(135) 奈良県産材の安定供給及び利用の促進

これまで

A材、B材、C材全てを搬出し、多用途に供給利用する県産材の安定供給と利用の促進を目指して努力してきました。

もっと良くするために

奈良県県産材の安定供給及び利用の促進に関する条例を令和2年2月議会に提案します。

目指す姿

令和2年度に奈良県県産材の安定供給と利用促進プランを策定し、具体的な施策を推進します。

条例を踏まえた基本的な施策等

県産材を安定的に供給

- ・高性能林業機械の積極的な導入
- ・路網の計画的な整備
- ・森林施業の集約・合理化
- ・合意形成の仲介・計画提案の支援

県産材の利用を促進

- ・県産材認証制度の普及
- ・公共事業・公共建築物への利用促進
- ・国内外への販路の拡大
- ・木質バイオマス等その他の用途としての活用

人材の育成及び確保

- ・林業に係る高度な技術習得のための研修
- ・労働条件の向上促進
- ・県産材の利用促進を担う人材の育成

普及啓発

- ・木に親しみ、触れ合い、利用の意義を学ぶ機会の確保、情報発信

奈良には森林がたくさんあるけど、木を使うといいことがあるって本当なのかな？



木材は、人に心地よい感覚を与えたり、再生産ができて、人と環境にやさしい資源です。奈良の森林で育った木材を使うことが、奈良の森を守ることにつながるんです。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
条例を踏まえたアクションプランの策定	アクションプランの策定とその進捗管理		